

● 最近の県内経済

基調判断

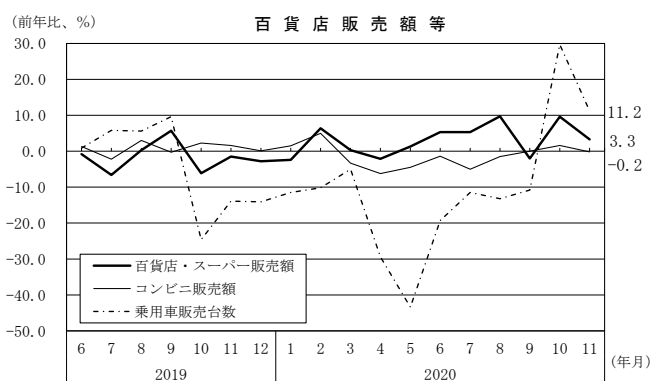
(2020年11月を中心として)



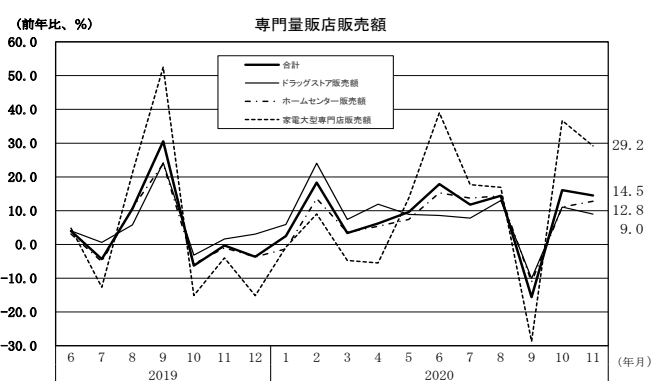
今月の概要

県内景気は、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響から、依然として厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しや下げ止まりの動きがみられる。

1 個人消費 一部で持ち直しの動きがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

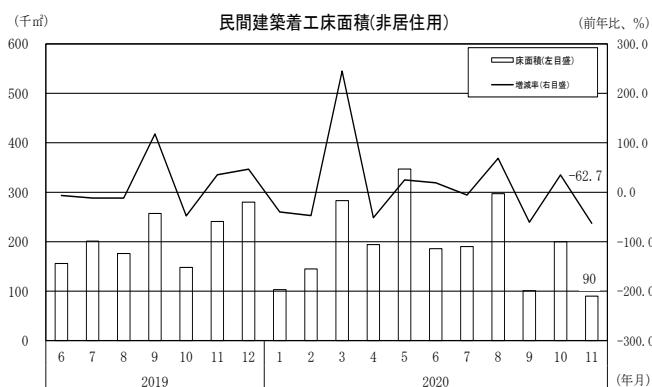
11月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,082億円で前年比3.3%増となった。百貨店は同10.5%減と2か月ぶりに減少、コンビニ販売も518億円で同0.2%減と3か月ぶりの減少となったが、スーパーは同6.7%増と10か月連続増加した。

乗用車販売は、同11.2%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車（同5.1%減）は2か月ぶりの減少となったものの、普通車（同27.1%増）、軽乗用車（同9.4%増）は増加した。

11月の専門量販店販売額は、727億円で前年比14.5%増となった。内訳をみると、家電大型専門店が184億円で同29.2%増、ドラッグストアが363億円で同9.0%増、ホームセンターが180億円で同12.8%増となった。

関東の消費者態度指数（原数値）は、10月〈32.7〉、11月〈33.3〉、12月〈31.8〉で推移している。

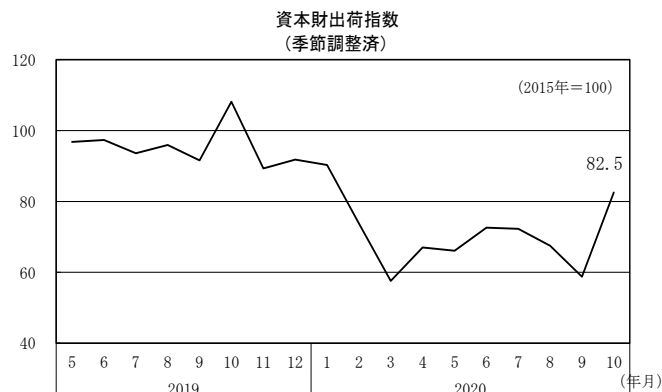
2 設備投資 下げ止まっている



(資料)国土交通省

11月の民間建築着工床面積（非居住用）は、90千㎡で前年比62.7%減となった（5か月後方移動平均でも前年比14.2%減）。

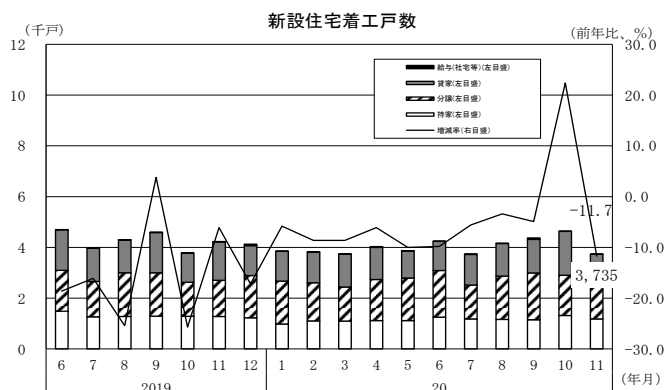
用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所のいずれも減少した。



(資料)埼玉県

10月の資本財出荷指数（季節調整済）は、82.5で前月比40.3%の増加となった（4か月ぶりの増加）。

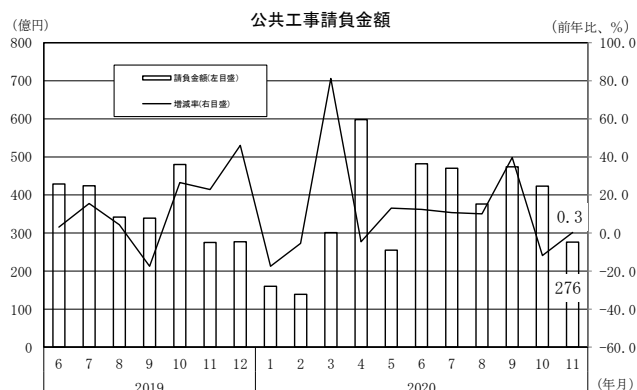
3 住宅建設 下げ止まっている



(資料)国土交通省

11月の新設住宅着工戸数は、3,735戸で前年比11.7%減と2か月ぶりの減少となった。利用関係別にみると、分譲マンション（572戸）が同175.0%増となった一方、持家（1,181戸）が同7.7%減、貸家（888戸）が同41.3%減、分譲一戸建（1,079戸）が同11.0%減となった。

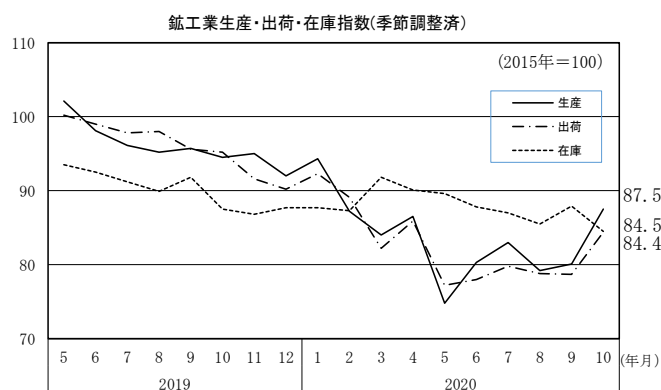
4 公共工事 増加基調



(資料)東日本建設業保証株式会社

11月の公共工事請負額は、276億円で前年比0.3%増となった（5か月後方移動平均では前年比8.5%増）。発注者別でみると、独立行政法人等、都道府県で減少したものの、国、市区町村は増加した。

5 生産活動 持ち直しつつある

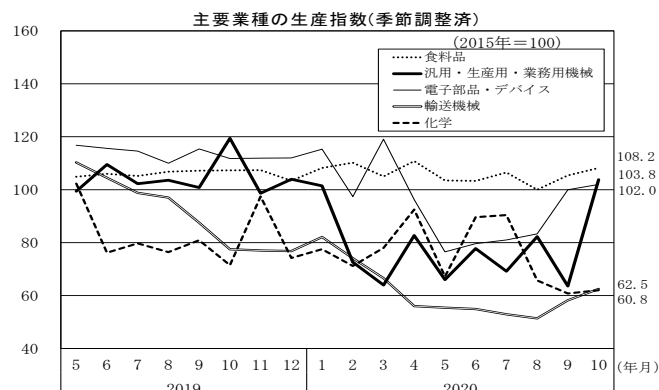


(資料)埼玉県

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、87.5で前月比9.2%上昇(2か月連続の上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、業務用機械(医療用機械器具、パチンコ)などは低下したが、電子部品・デバイス(混成集積回路、プリント配線実装基板)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが上昇した。

出荷指数(同)は、84.4で同7.2%上昇(3か月ぶりの上昇)。輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、非鉄金属(伸銅製品、アルミニウム圧延製品)などが上昇したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置)、業務用機械(医療用機械器具、パチンコ)などが低下した。

在庫指数(同)は、84.5で同3.9%低下した(2か月ぶりの低下)。プラスチック製品(プラスチック製容器、発泡プラスチック製品)、情報通信機械(電話機)などが上昇したが、生産用機械(整地機械、研削機)、電子部品・デバイス(線形半導体集積回路、混成集積回路)などが低下した。



(資料)埼玉県

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、108.2で前月比2.7%上昇し、2か月連続の上昇となった。

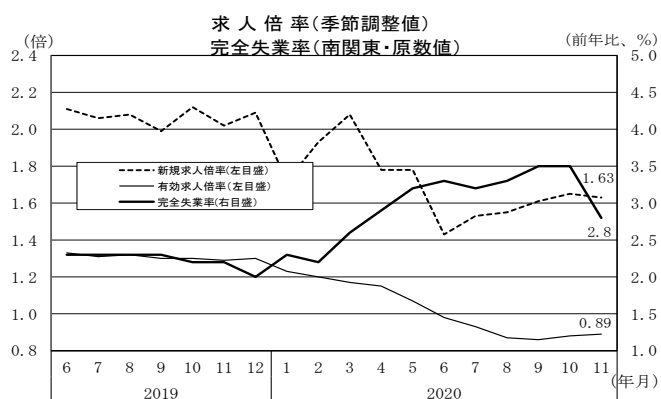
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、103.8で同63.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は102.0で同2.0%上昇し、5か月連続の上昇となった。

◆ 輸送機械(同)は、62.5で同7.4%上昇し、2か月連続の上昇となった。

◆ 化学(同)は、62.0で同2.0%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 悪化している

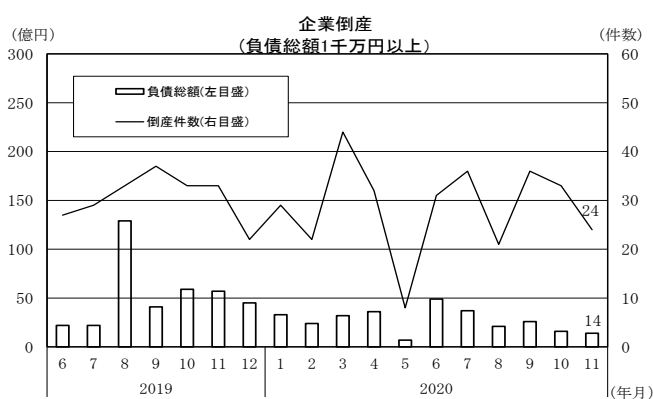


(資料)厚生労働省、総務省

11月の有効求人倍率(季節調整済)は、0.89倍で前月比0.01㊦上昇(2か月連続の上昇)したものの、6か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.63倍で同比0.02㊦低下(5か月ぶりの低下)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.6㊦上昇した。(前年同月比10か月連続の上昇)

7 企業倒産 一進一退



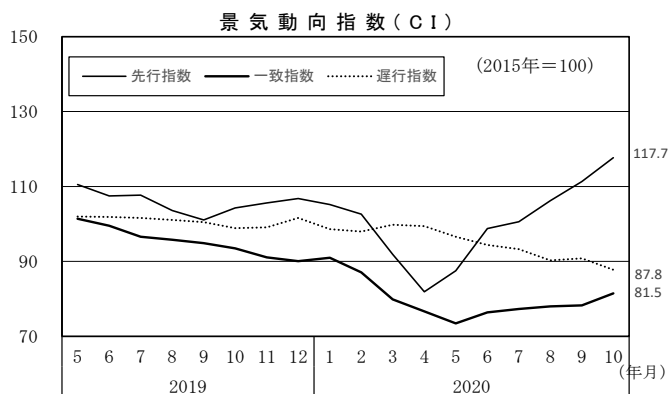
(資料)帝国データバンク

11月の企業倒産件数は、24件で前年同月比9件の減少となった。負債総額は14億円で同43億円の減少となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比9.1%減、金額は63.0%減)。

業種別にみると、製造業が7件で最も多く、建設業、卸売業、サービス業がそれぞれ5件と続いている。主因別では、販売不振が22件となっている。

〈参考〉

景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、81.5で前月比3.2㊦上昇し、5か月連続の上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、117.7で同6.4㊦上昇し、6か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.8で同3.0㊦低下し、2か月ぶりの低下となった。